

平成28年度

港湾空港技術講演会

日時

平成28年12月9日（金）
11:00～17:00（受付 10:30～）

会場

海運クラブ

東京都千代田区平河町2-6-4
東京メトロ「永田町」駅
4, 5番出口から徒歩1分

■ 講演会概要 ■

本講演は、国土交通省国土技術政策総合研究所及び国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所で実施している調査、研究、技術開発の成果を公表し、その普及に努めることを目的に開催しております。

当日は、『建設技術の新たなステージ～i-Construction～』と題し、立命館大学理工学部 建山和由教授の特別講演と、両研究所から最近の研究成果を発表します。

ご多忙中とは存じますが、皆様お誘い合わせの上ご来場賜りますようご案内申し上げます。

申込
方法

必要事項を明記の上、FAX・e-mail
にて下記宛先までお申し込み下さい。
（様式自由）

入場

無 料
定員：300名

■ 必要事項 ■

件名を『平成28年度 港湾空港技術講演会 参加申込み』とし、

- ①氏名
- ②ご所属団体名
- ③〒番号・住所
- ④電話番号

（FAXでお申し込みの方は、FAX番号もお知らせ下さい）

■ 申込締切 ■ 12月5日（月）

申し込み多数の場合は、定員になり次第締切とさせていただきます。



土木学会CPDプログラム
認定番号 JSCE16-1132
(4.8単位)

■ 会場マップ



■ お申込み・お問合せ先

国土技術政策総合研究所
管理調整部企画調整課
Tel：046-844-5019
Fax：046-842-9265

海上・港湾・航空技術研究所
港湾空港技術研究所
管理調整・防災部 企画調整・防災課
Tel：046-844-5040
Fax：046-844-5072
e-mail：kikaku@ipc.pari.go.jp

プログラム

- 10:40 開場
- 11:00 開会挨拶
◎栗山善昭 港湾空港技術研究所長
- 11:10 音響ビデオカメラ開発とその運用に向けて
◎松本さゆり 港湾空港技術研究所 新技術研究開発領域 計測・システム研究グループ長
- 11:50 港湾構造物の地震被害とその対策・対応
◎小濱英司 港湾空港技術研究所 地震防災研究領域 耐震構造研究グループ長
- 12:30 休憩(1時間)
- 13:30 特別講演 建設技術の新たなステージ ～ i-Construction ～
◎建山 和由 立命館大学理工学部 教授
- 14:40 港湾施設の洗掘・吸い出しとその設計
◎鈴木高二郎 港湾空港技術研究所 海洋研究領域 耐波研究グループ長
- 15:20 休憩(10分)
- 15:30 みなとの資源を活用したみなとまちづくり
◎上島 顕司 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部 沿岸域システム研究室長
- 16:10 空港の地震リスクマネジメント
◎中島 由貴 国土技術政策総合研究所 空港研究部 空港新技術研究官
- 16:50 閉会挨拶
◎三宅 光一 国土技術政策総合研究所 副所長

講演者紹介/講演内容の概要

特別
講演

立命館大学理工学部 教授

たてやま かずよし

建山 和由

建設技術の新たなステージ ～ i-Construction ～



本年4月にスタートした i-Constructionでは、これまで遅れていた建設分野の生産性を画期的に高めるだけでなく、それをもって建設の産業としての体質を改善することが目指されています。講演では、i-Constructionの背景と目指すところ、ならびにこれを推進するための具体策である情報化施工、建設ロボット、CIMについて事例を挙げて紹介します。

建山 和由氏プロフィール

京都大学工学部土木工学科卒業、工学博士(京都大学) / 京都大学工学研究科助教授を経て、2004年より現職、2013年より学校法人立命館常務理事 / 専門は地盤工学、建設施工学、情報化施工等 / 国土交通省情報化施工推進会議委員長、同省i-Construction委員会委員、ICT導入協議会委員長、公益社団法人土木学会建設用ロボット委員会委員長等

松本 さゆり『音響ビデオカメラ開発とその運用に向けて』

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の一環として、音響ビデオカメラの開発を行ってきた。これまでの開発経緯を簡単に紹介し、今年度末に完成予定の機器性能や今後の使用方法等について、進捗を報告する。

小濱 英司『港湾構造物の地震被害とその対策・対応』

これまでの巨大地震において港湾構造物は多くの被害を受けてきた。本報告では、港空研における地震後の対応と被災原因の解明に関する研究、耐震技術開発等について紹介する。

鈴木 高二郎『港湾施設の洗掘・吸い出しとその設計』

洗掘・吸い出し現象を最近の大型実験の動画などをもとに解説するとともに、防砂シートや防砂板の設計法の課題と対策について述べる。また、最新の粒子法洗掘シミュレーションを紹介する。

上島 顕司『みなとの資源を活用したみなとまちづくり』

地域振興への貢献のためにも、みなとまちの地域資源を活用した地域振興・空間形成は重要である。そこで最近の状況、研究の方向性について紹介し、近代の主要な都市整備における港への配慮とその現在における活用のされ方等について概観する。

中島 由貴『空港の地震リスクマネジメント』

近年、中央防災会議でタイムライン(期限と総体性能)を要求。「地震に強い空港のあり方(2007、航空局)」は、発災3日以内の民航再開など、期限と総体性能を示し先駆的。これら期限と総体性能について、確定論ではなく、確率論で地震リスクを考える。